

困窮家庭の「第二の家」



子ども食堂の完成を祝う関係者ら「あわらし市西崎」で

常設子ども食堂 完成式典

あわらし

あわらし市西崎二の古民家を改修した常設の子ども食堂「みんなのお家」（仮称）が完成し十九日、関係者を招いた記念式典が開かれた。ひとり親など困窮する家庭を対象に、第二の家のように集まれる場所として九月にオープンした。二十日には食堂のキッチンを利用したコミュニティカフェがオープンする。

（畑明日香）

きょうカフェもオープン

近くの本願寺吉崎別院（吉崎西別院）で、毎月最終日曜日に子ども食堂「テンプル食堂よしぎき」を開いている「えんまん」が、

孤独を抱える子どもたちの居場所を作ろうと改修工事を実施した。食堂では食事の提供だけでなく、農産物を通じた食育や学習支援にも取り組む方針。正式名称は今後、利用する子どもたちから公募する。

キッチン部分を使ったコミュニティカフェ「えんまんカフェ」は誰でも利用できる。

できる。テイクアウトを中心に、ハンバーガーやコーヒーなどを提供する。売り上げの一部を子ども食堂の運営費に充てる。食堂とカフェの営業時間は午前十一時～午後七時。毎週火曜と最終日曜日が定休。

式典には、改修を支援した団体の代表者ら十五人が出席。改修の様子を撮影した動画を上映し、着工から完成までの一年間を振り返った。

八幡真衣代表理事は「子どもたちにはここで人のぬくもりや優しさに触れてほしい。『ただいま』と入ってきて『おかえり』と迎え入れられるようなおうちになれば」と話した。

えんまんは、改修への支援者である東京都の一般社団法人「ハートフルファミリー」へ、えんまんの呼びかけで集まった「こめ七百五十」を寄付した。ハートフルファミリーは全国のひとり親世帯を支援しており、登録している世帯のうち親子に障害がある三百五十世帯に「こめき」を贈る。式典では自録の贈呈式があった。